

# たのしかったおとまりほいく

令和6年 10月号  
日出みみよう保育園

## ～にじいろプロジェクト4 お泊り保育特別号～



似島に到着し、まずはお家の方が作ってくれたおむすびを食べてパワーチャージ! さあ、今から何をして遊ぼうかな?



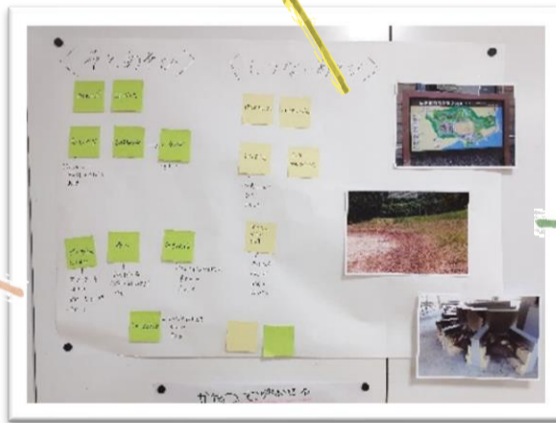
楽しみにしていたおやつ作り、バウムクーヘンや焼きマシュマロを作って食べました。マシュマロが苦手...と言っていた子どもも一口食べてみると「おいしい!!」「おかわりしたい!」とたくさん食べました。



キャンプファイヤーでは一緒に行ったグループ園のお友だちともすぐに仲良くなり、日出の子は自分たちから「お名前は何ていうの?」「どこの保育園?」と積極的に質問している子がとても多かったですよ。



食事は全てピュッフェ形式。同じテーブルのお友だちと、「これまだ食べる?」「もらっていい?」「お皿貸して。入れてあげる」など自分たちで量を加減したり、お互いに助け合ったりしながら食べている姿が印象的でした。ジュースやデザートまで食べることができて大満足!の子どもたちでした。



お泊りに行く前から「何をして遊ぼうか?」とたくさん話し合っていたしろぐみさん。当日はできたこともできなかったこともありましたが、それでも自然の中でたくさんの発見をしながら一人ひとりが思いおもいにあそびを楽しむことができました。子どもたちにとってはまだまだ遊び足りない!という二日間でした。



お泊り保育楽しかったね!!

一泊二日のお泊り保育。行く前からしろぐみさんのお部屋では、『こんなことしたい』『どうやったら虫が逃げない虫かごが作れるかな?』『芝滑り、良く滑るためにはどうしたらいいか考えよう!』などと、みんなで対話を重ね、一生懸命に考え工夫している姿がたくさん見られていました。どんどん気持ちが盛り上がり、迎えた当日も、誰も泣かずに登園できたのは今年のしろぐみさんが初めて!子どもたちにもそのことを出発前に話すと、にこり!と笑ってとても誇らしそうでした。夜には少し寂しくなってちょっぴり涙が出てしまった子もいましたが、朝までぐすり。おしっこが心配だった子も、誰一人漏れることもなく、それもまた誇らしそうでした。この二日間、子どもたちは自分たちで自主的にあそびを見つけて楽しんだり、また保護者の方と離れ、自分のことは自分でやる経験をしたことで、一人でできた!とさらに自信に繋がったことと思います。そして、まだまだ子どもたちの“お泊りブーム”は続いており、バウムクーヘンや焼きマシュマロを保育園でもしたい!虫や住んでいた森を作りたい!などと、盛り上がっています。さらにあそびが広がる様子にワクワクします。そんな中、生活面では、お箸の持ち方が気になる子がいたり、気持ちの切り替えに時間がかかる子がいたりなど、少し気になる姿も見られました。これから就学に向けてご家庭とも連携を図りながら、子どもの育ちを引き続き丁寧に見ていきたいと思っています。子どもたちが体調も崩すことなく最後まで全員で参加することができたこと、とても嬉しかったです。それも前日までご家庭で子どもたちの体調をしっかりと見ていただいたおかげと感謝しております。準備等いろいろとありがとうございました!

幼稚園主任